

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
会議名 (審議会等名)	令和4年度 嬉野市第1回食育推進会議		
開催日時	令和4年6月28日(火) 14:00～15:15		
開催場所	嬉野市中央公民館 大集会室		
会議の公開の可否	☑ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	森サチ子委員、江口智子委員、坂井美恵子委員 山口真喜子委員、川原みさ子委員、津留郁子委員 松尾明美委員、長島秀樹委員、成富麻衣子委員 坂本望委員、河野ひろ子委員、友清雅子委員	
	事務局	副市長、市民福祉部長、健康づくり課長 健康づくり課統括保健師、健康づくり課副課長2名 健康づくり課主任、健康づくり課主事	
	その他	株式会社サーベイリサーチセンター 高根一真 主任研究員	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議レジメ ・ 資料 (別添1～2) ・ 市報6月号 ・ 健康栄養雑誌『ヘルシスト』 ・ 味噌玉チラシ ・ 第4次嬉野市食育推進計画策定に関するアンケート ・ 健康マイレージ 		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	健康づくり課
審議経過	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付 異動・役員改選等で今年度委員を交代される方 14 名のうち欠席者を除く 12 名へ交付</p> <p>3. 副市長挨拶 大塚製菓と「健康維持・増進等に関する包括連携協定」を締結した。熱中症予防や市民の健康維持増進などの項目があるため、本会議と連携して食育を進めてほしい。また、食は「生きる力」だと思うので、皆さんの活動が嬉野市の力に結びついている。今後ともご協力をお願いしたい。</p> <p>4. 嬉野市食育推進会議運営及び役員選出について</p> <p>5. 食育推進会議会長・副会長就任挨拶</p> <p>6. 協議事項</p> <p>【事務局】 出席者数 12 名、委員総数 14 名の過半数を超えているので本会議は成立する。</p> <p>(1) 令和 3 年度嬉野市食育推進事業報告について</p> <p>1) 食育推進事業について</p> <p>【事務局】 P1・2 について説明 令和 2 年度に実施した中間評価をもとに、味噌玉づくりの普及啓発など家庭の力を利用した食育の推進に力を入れた。コロナ禍で縮小する事業もあったが、児童生徒の料理教室・食育教室については学校からの要望が多く、過去最高の 20 回 656 人に実施した。</p> <p>2) 食育広報及び食育推進に関する調査について</p> <p>【事務局】 P3・4 について説明</p> <p>3) 食育賞について</p> <p>【事務局】 別添 1 「食育ネットワークさが情報誌～生きる力～」で説明</p> <p>(2) 令和 4 年度嬉野市食育推進事業計画について</p> <p>1) 食育推進事業計画について</p> <p>【事務局】 P5 について説明 今年度は第 4 次嬉野市健康総合計画・食育推進計画の策定を行うので、ご協力をお願いしたい。食生活改善推進協議会が行う活動で、対話や訪問及び集会での普及活動については昨年度の実績をふまえた計画としている。</p> <p>2) 食育広報及び食育推進に関する調査について</p> <p>【事務局】 P6・7、別添「市報 6 月号」で説明 前回の会議で、味噌玉づくりを学校や保育園で実施し、その様子を市報に載せると</p>	

<p>審議経過</p>	<p>保護者の関心も引くのではないかとという提案をいただいた。事前アンケートでも味噌玉作りを計画されているところがあったので、そのような取り組みをされる場合は取材をさせていただきたい。</p> <p>【委員】「時短×かんたん×元気まんたん」という言葉に一番近いのが味噌玉だと思う。男性の方にもぜひ覚えてほしい。</p> <p>【委員】時短レシピに主菜はよく載っているが、副菜や汁ものなどの組み合わせにいつも迷う。バランスの良い組み合わせのレシピなどもいっしょに載せてほしい。</p> <p>3) 「第4次嬉野市健康総合計画・食育推進計画」策定について</p> <p>【株式会社サーベイリサーチセンター】別添「第4次嬉野市食育推進計画策定に関するアンケート」で説明</p> <p>(3) 委員の皆さまの食育活動と嬉野市の食育について (事前アンケートより)</p> <p>1) 活動状況と今後の予定について</p> <p>2) 嬉野市の食育について</p> <p>【事務局】P8について説明。中島委員の嬉野市でどんなものが生産されているか知る必要があるというご提案の通り、国の第4次食育推進基本計画にも地場産物や生産者を意識した取り組みについての項目がある。協力して推進していく必要があるため、市の計画書策定の際にも盛り込んでいきたい。ご質問のあった市の子ども食堂については、たちばな学園が月に1回実施している。コロナ禍のため手作りではなく、パンとジュースを組み合わせ近所の子どもたちに提供している。フードロスについては、市と特定非営利活動法人フードバンクさがが連携協定しており、子育て世帯や生活困窮者への支援、災害時の非常食の備えとして活用されている。フードロスをなくしながら支援になる取り組みをしている。事前アンケートから、委員の皆さんの取り組みたいことと取り組んでほしいことがマッチングしていることが分かったので、この会議を利用して取り組みを進めてほしい。異なる立場の皆さんが、この会議では同じ目標をもって同じ方向に健康づくりを進めていくことで、嬉野市らしい食育ができると思う。昨年度の会議で子どもの食育の重要性が課題になった。朝食のバランスを整えることにみんなで取り組んではどうかということから手軽にみそ汁を食べるきっかけづくりということで味噌玉が提案された。今年度も引き続き味噌玉の推進に向けて具体的な取り組みを進めていきたい。味噌玉の推進という視点から御討議いただきたい。</p> <p>【委員】嬉野高校3年生(卒業生)に向けて、食についてリモートで話をした。嬉野高校は卒業後、就職や一人暮らしを始める生徒がほとんどである。一人暮らしになるが味噌玉は簡単でいいという感想が多かったので、広めていかないといけないと思った。</p> <p>【委員】昨年度、味噌玉チラシを全小中学校に配布したところ好評だったと聞いている。どんどん進めてほしい。取り組みたいこととして卒業生にレシピ集をプレゼントしたいと思っているが、冊子を配布するとなると予算がかかる。毎月給食だよりの裏にレシピをのせているので、それを3年分集めて提供できたらと思っている。</p> <p>【委員】冊子を配布するのもいいが、SNSやHPでレシピを紹介するのはどうか。</p>
-------------	--

<p>審議経過</p>	<p>買い物先でも携帯さえ持っていればいつでも見れるのでいいのではないかと思います。</p> <p>【委員】以前いた学校で卒業記念に紙で献立集を渡したところ、高校3年間は保護者が参考にし、自立するとき子どもに持たせ今でも活用しているという声があった。それを聞いて紙にこだわっていたが、SNSもいいと思う。SNSはどのようにしたらいいか。</p> <p>【事務局】献立を公開していいのであれば、嬉野市のHPで紹介することもできる。</p> <p>【委員】中学校から献立表が来るが、夕飯と被らないようにしようというような使い方しかしていない。おいしそうな献立があっても作ることができないので、献立表にQRコードをつけると活用できるのではないかと思います。嬉野市のHPに載せても、忙しいときにわざわざ開く気にならない。</p> <p>【委員】すぐにはできないかもしれないが検討する。</p> <p>【委員】今年度の食育活動が7月から始まる。小麦粉の高騰でパンも値上がりしそうなため、米を食べようと推進するにはいいチャンス。学校でもパン中心の児童が多く、ほとんどの人がおかずを食べていないので、今年度は『ごはんのみそ汁で朝食を』をスローガンに掲げ、これだけで栄養満タンだということを力説していきたい。また、炊き立てごはんのみそ汁、漬物で十分おいしいと伝えたい。</p> <p>日本の子どもたちの身体的幸福度は世界1位だが、精神的幸福度は37位と低い。子どもたちと食卓を囲む機会が少ないことが原因ではないかと思う。家族団らん食事の日をもっと大切にするよう計画に掲げてほしいと思う。</p> <p>【委員】1,2年生の残飯が多く、減らす人一？と聞くとたくさんの方が持ってくる。保護者と児童と一緒に給食を食べる機会があったが、保護者がまず減らしてくださいと持ってくる。保護者が食べないから子どもたちも食べないのかな？これからの体づくりに大切なのに食べてくれないのは家庭環境が影響しているのかな？と実感したところだった。炊き立てのごはんのみそ汁のおいしさを子どもたちに伝えることも大切だが、食を提供するのは保護者だと思う。イベントとして炊き立てのごはんのみそ汁とお茶を提供したり、味噌玉を使った試食会をしたりするなど、親子で食べることは楽しいことなんだと保護者にわかってもらえると食育になるのではないかと思います。</p> <p>【委員】嬉野小学校も食べない児童が多く、特にごはんを食べない児童が多い。給食が嫌で学校に行きたくないという児童もいる。学校現場では給食で悩んでいることが多い。保護者や親世代の方に情報提供や支援をしていただきたい。</p> <p>【委員】昔は井ぶりにごはんを食べていたが今は食べるものがあるから食べないのか？給食の残飯がどのくらいあるか気になる。そういう情報を含めて子どもたちにお弁当やおにぎりを自分で作ってもらい、生産者や料理を作ってくれている人の大変さや感謝の気持ちを改めて感じてほしい。</p> <p>最近、発酵食品を食べましょうというコマーシャルが多い。その中でヨーグルトなどは進んで食べるが、みそ汁や豆腐はどうして食べないのか不思議。朝食も絶対ごはんをとるわけではなく、パンのみそ汁をあわせてもいいので、どうかならないかと思う。パンも目玉焼きなど付属でついてくるといいが、菓子パンを食べて学校に来る</p>
-------------	--

<p>審議経過</p>	<p>子どもたちも多い。忙しいという保護者も多いので、その辺も含めて食育を考えていかなければいけない。</p> <p>7. その他</p> <p>(1) 嬉野市「子どもが作る弁当の日」取組みについて</p> <p>【事務局】配布資料『嬉野市「子どもが作る弁当の日」実施に関する調査結果』で報告。どの学校もそれぞれ工夫を凝らし実施されている。令和2年度はコロナの影響で中止した学校も多かったが、令和3年度は全小・中学校で実施された。学校側も子ども達に良い効果がでてきているという認識があるので、引き続き推進していきたい。</p> <p>(2) 嬉野市健康マイレージ事業について</p> <p>【事務局】配布資料『健康マイレージ』で説明。皆さんの健康づくりを応援するという事業で、健診受診や健康への取り組みにポイントを付与し、決まったポイントを獲得すると商品券と交換できるという内容。市民の取り組みについてご協力をお願いしたい。</p> <p>(3) 嬉野市食育推進会議委員名簿</p> <p>8. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-------------	---